

一般質問

令和7年9月定例会

一般質問 ～13人の議員が 市政を問う～

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

※一般質問のタイトルおよび質問内容は質問者の責任において作成しています。

中澤 功史 議員 P 9

福島 丘泰 議員 P 10

高澤 幹 議員 P 11

須田 勝 議員 P 12

埴田 裕之 議員 P 13

高野 佳美 議員 P 14

望月 昭治 議員 P 15

角田 喜和 議員 P 10

田村なつ江 議員 P 11

山内 崇仁 議員 P 12

後藤 弘一 議員 P 13

田邊 寛治 議員 P 14

加藤 幸子 議員 P 15

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。

人口減少への対応
質問 人口減少に対応するためには「男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の理念に沿った市政運営と民間との協働が必要と考える。市長の考えは、**(市長)** 国の方針を踏まえ、多様性の尊重や価値観の転換、官民協働により、誰もが活躍できる協働のまちづくりを推進していきます。
年齢構成の変化への対応
質問 シニアを含めたファミリー層をターゲットとした「ユニバーサルツーリズム」と「伊香保温泉」を掛け合わせた取り組みをすべき。どのようにこれを推進していくか。
(産業観光部長) 「観光施設心のバリアフリー推進事業」に取り組むことで、シニア層の誘客や共生社会の観光地づくりを推進します。
部活動地域展開の推進
質問 学校部活動の地域展開を進めるに当たり、楽器や防具等の学校備品を地域クラブに無償貸与するなど、生徒・保護者の負担軽減の取り組み状況と今後の見通しは。



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう



若者も帰ってきやすい・働きやすい・住みやすいまちづくりを推進します

(教育部長) 学校で購入した備品の利活用や管理について検討し、さらに保護者の費用負担の軽減に向けた検討を今後も行います。
質問 学校部活動の地域展開を担う地域クラブが、民間から運営費補助を受ける場合にも、市からの補助から除外されないような制度設計が必要と考える。市の考えは、**(教育長)** 県内や全国の先進事例等について情報収集し、民間の支援や公的支援等の支援の在り方を検討しながら、制度設計について研究をしていきます。



角田 喜和

夏休みの延長・ 体育館にエアコン設置を



質問 2学期が8月26日から始まり、児童は給食を食べ猛暑の中を下校している。県内では8月末まで夏休みの自治体が増えている。渋川市にも夏休み延長を求める。

教育長 近年の猛暑から児童生徒の安全を第一に考え、他市町村の動向や保護者、地域、関係機関の意見も考慮し、昨年度に引き続き夏休み延長の検討を進めます。

質問 小中学校特別教室のエアコン設置は完了した。未設置の体育館は災害発生時には避難所となる。児童生徒の暑さ対策、環境整備にも必要なエアコン設置の計画は。

教育長 必要性は認識しており、具体的な検討を進め可能な限り早い段階で設置できるよう調整したいと考えます。なお、設置までに時間を要すると考え、先行して冷風機等の備品も検討しています。

交通弱者の解消の取り組み

質問 公共交通ネットワークの見直しを進めているが、交通弱者対策はどうなるのか。

建設交通部長 赤城地区から子持



赤城地区に運行エリアが
拡大されたデマンドバス

地区・北橘地区にある商業施設や病院に直接行けるよう、小野上・子持地区および北橘地区の各デマンドバスを赤城地区へエリアを拡大して運行する予定です。

質問 赤城地区へのデマンドバス拡充で既存バス路線はどうなるか。

建設交通部長 赤城地区の既存路線バスのうち、「渋川駅～深山線」をデマンドバスの運行開始に併せて廃止し、「渋川駅～勝保沢線」および「渋川駅～南柏木線」については運行を継続する予定です。



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために



農業振興と農業政策の方針

質問 ICTやロボット技術を活用したスマート農業の取り組みは。

産業観光部長 情報収集を行い、国や県の補助事業の積極的な活用について検討します。

質問 中山間地域等の小規模分散農地とスマート農業技術を生かせるほ場整備の取り組みは。

産業観光部長 農作業効率化のため、ほ場の大区画化が必要と考えます。また、大型農業機械やスマート農業機械の導入を支援します。

質問 農林産物のブランド化と販売力の強化の取り組みは。

産業観光部長 渋川市産農産物の安全性について情報発信を行い、SNSやインターネット等を活用した取り組みを研究します。

質問 今後、力を入れる農業振興策と市独自の支援は。

産業観光部長 就農継続と新規就農者確保に向けた補助事業の見直しなど、市独自事業を研究します。

質問 上信自動車道渋川西バイパス開通後の道の駅への影響は。



スマート農業技術の生かせるほ場整備推進と上信道開通後の影響が心配される道の駅

産業観光部長 来場者と売り上げの減少が考えられますが、地域農業の維持や活性化の役割も含め、今後の方針を検討しています。

質問 上信自動車道の開通で、渋川市が通過地点になる恐れがある沿線に利用者が立ち寄り、地域経済活性化につながる、農業と観光を結び付けた拠点整備の考えは。

市長 交流人口の拡大などにも寄与するものと考えていますので、開通後の人や交通の流れなどを注視し、研究を進めていきます。

※紙おむつのサブスク：使用枚数にかかわらず月額料金など定額を支払い、サービスを利用するもの。
サブスクを運営する会社から保育施設に直接紙おむつが納入され、保護者が紙おむつ持参する負担や、保育園で園児ごとに紙おむつを管理する負担などの軽減が期待されます。

一般質問



田村なつ江

よりよい市政の実現を



新市長の意気込みを

質問 選挙戦を振り返って、あらためて感じる市の課題は。

市長 市と議会とが互いを尊重し、政策的な議論を交わす良好な関係性を回復し、総合計画を基本とした体系的な政策運営に見直します。

質問 市長が持つ国や県との太いパイプをどう生かしていくのか。

市長 市民の声を聞き、必要とする政策へ結びつける枠組みを整え、国や県と緊密に連携し、市の実情に合った施策の推進を図ります。

事務事業評価と事業レビュー

質問 事業レビューを実施しているが成果が上がっていないと感じる。市長の見解と今後の展開は。

市長 これまでの取り組みについてしっかりと検証し、より効果的、効率的なものとなるよう、検討を進めていきます。

職員の離職について

質問 定年退職以外で退職した職員の状況は。

総務部長 普通退職者数は、令和2年度から令和6年度までの間で



水道管の老朽化による漏水

9人、16人、8人、15人、8人で、単純な増減傾向は見られません。
質問 60歳以降の職員の働き方は。

総務部長 60歳になった際に、引き続きフルタイムで働くか、いったん退職して短時間勤務にするかを選択できる制度になっています。

水道管の老朽化

質問 漏水により失われた水量と、それを水道料金に換算した金額は。

上下水道局長 令和6年度では、全体の24・7%に当たる317万4423m³が無効な水量となり、約4900万円に該当します。



高澤 幹

住む人すべてのしあわせを育むまち渋川市



教育支援

質問 小中学校の適正配置へ向けた検討委員会の開催状況は。

教育部長 令和6年度は庁内検討委員会4回とワーキング16回、今年度は外部検討委員会2回と庁内検討委員会3回を開催しています。

質問 適正配置に関する地域や保護者からの意見公募やワークショップは今年度中に開催できるのか。

教育部長 まずは、基本方針案の段階で、おおむね12月頃の予定で、市民意見公募を実施します。

質問 アレルギー対応で学校給食を食べずに弁当を持参している家庭への経済的配慮を行う検討は。

教育部長 持病のほか保護者方針ということもあるので、県内他市の状況等を調査し、補助制度について研究していきたいと考えます。

しぶかわ涼みどころ

質問 涼みどころの目的や内容は。

市民環境部長 涼みどころは市が独自に策定した地球温暖化対策に係る熱中症対策方針に基づき設置している暑熱避難施設で、民間施



子どもが生き生きと育つ
小中学校の適正配置を

設も含め33施設を指定しています。
質問 快適な空間が確保されているかの確認方法は。

市民環境部長 民間施設については、設置場所を記載した平面図を提出いただき、事業者立ち会いのもと現地確認をしています。

紙おむつのサブスク

質問 市内保育施設で紙おむつのサブスクを導入する検討は。

育都推進部長 紙おむつのサブスクは保護者等の負担を軽減する取り組みですが、研究すべき課題もあるので、引き続き検討します。



山内 崇仁

渋川市の魅力を発信



eスポーツについて

質問 シニア向けのeスポーツを今後も継続していくのか。

福祉部長 eスポーツが健康づくりへの取り組みや社会参加等につながることから、その活用も含め楽しみながら取り組める事業となるよう工夫を重ねていきます。

質問 交流人口の増加や世代間交流を促進するため、eスポーツなどデジタルアクティビティを取り入れたまちづくりを進める考えは。

総合戦略部長 デジタルアクティビティには、多世代交流など幅広い効果が期待できることから、地域活動や観光などと連動した仕組みづくりを検討していきます。

産業・観光振興への取り組み

質問 渋川総合公園から水澤寺の区間に歩道を整備する計画は。

建設交通部長 県へ確認したところ、通学路の歩道整備を優先する方針とのことですが、この区間における整備も重要ですので、今後とも市から要望していきます。

質問 伊香保温泉から水沢方面へ



eスポーツを楽しむ高齢者

運行しているタウンバスを榛東村、吉岡町と協働で延伸し、広域的な観光振興を広げる考えはあるか。

建設交通部長 榛東村と吉岡町との広域的な地域振興につながる公共交通網の整備について、両町村や交通事業者、観光施設と連携を図りながら検討を進めていきます。

質問 総合公園周辺に親子が集える「道の駅」を設置してはどうか。

総合戦略部長 自然環境や観光資源を生かし、民間主導での整備や運営を前提に、事業提案の実現性を慎重に検討していきます。

を慎重に検討していきます。



須田 勝

新市長に聞く「回生」とは

星名市長の7つの戦略

戦略1 安全安心なまちづくり

質問 「交通弱者や買い物難民の解消」として、店舗の誘致のほか、移動販売業者の販売エリア拡大のための補助を行う考えは。

市長 行政とスーパーやコンビニなどを併せた複合施設の事例を参考に、宅配や移動販売業者とも連携した買い物支援を検討します。

質問 「身近な生活道路の維持・改善」について、赤城地区は維持管理が特に不足。改善の計画は。

建設交通部長 危険度や緊急度が高く、日常生活に与える影響の大きいところから優先して実施していきます。

質問 市庁舎は耐震性がなく、雨漏りするなど老朽化が進んでいる。新庁舎建設を進める考えは。

総務部長 新庁舎の位置、規模、整備手法、整備スケジュール等を具体化する新庁舎整備計画の策定を進めていきたいと考えています。

戦略2 人口減少対策

質問 「移住・定住しやすい環境

の創出」とは。

市長 安全・安心な生活環境の確保や持続可能なままとりのあるまちづくり等を目指し、それらを実にPRすることで、移住・定住しやすい環境を創出していきます。

質問 人口を維持し、増やす対策として、結婚対策課の組織を立ち上げる考えは。

育都推進部長 現段階では結婚に係る組織をつくる考えはありません。引き続き子ども政策課で結婚に係る事業の支援を行います。



星名新市長に期待！！



一般質問



後藤 弘一

学校現場の今



猛暑・酷暑による学校生活の変容

質問 授業時間の創意工夫は。

教育部長 児童生徒の安全を第一

に考え、エアコンと扇風機の併用や、各階でエアコンの使用開始時刻をずらす工夫もしています。

質問 体育館の空調設備の設置は。

市長 学校体育館は避難所にもなるため早急に検討していかなければならず、優先すべきところから整備を進めていきたいと考えます。

教育長 可能な限り早い段階で進めるよう調整をしており、避難所

としては空調設備のある特別教室での一時避難を検討しています。

児童生徒の夏休みの過ごし方

質問 課題の与え方の傾向は。

教育部長 おおむね一学期の復習、読書感想文や作文、ポスター、書道等を課題としています。課題の量についても児童生徒の負担にならないよう調整しています。

質問 夏休み期間の延長は。

教育長 近年の猛暑の影響から、児童生徒の安全を第一に考え、関係機関とも個別に連絡調整を図り、



猛暑対策
教室・特別教室にエアコン設置

具体的に検討を進めています。

全国学力・学習状況調査

質問 市の正答率と学習状況の顕著な例は。

教育部長 小6国算理と中3国数

は県平均並みです。中3理科は県、全国を大きく超え、理科の勉強が好きと肯定する回答率が高いです。

質問 IRT(項目反応理論)スコアとは。

教育部長 年度によって問題が異なっても共通の尺度で学力の経年変化を比較でき、学力状況を正確に把握できるものです。



埴田 裕之

『安定した市政』実現のための共存共栄(オール渋川)



施政方針について

質問 星名市長だからできることは。また、渋川市の課題をどうと

らえ、その解決策をどう考えるか。

市長 まずは市議会と良好な関係を構築し、総合計画を基本とした体系的な行政運営を進めていきます。また、公共施設の再編や生涯活躍のまちづくりなど、さまざまな課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいきます。

子持行政センター周辺整備事業

質問 令和3年に完了予定だった

公民館増築工事は、多額の費用を投じ道路水道整備、周辺建物解体設計等を実施したが凍結されている。当初の設計どおり進めるのか。

市長 設計から5年経過し、社会

情勢は大きく変化しており、当初設計のまま進めるか否かの決定は、現時点では行っていない。真に必要なもの、不足しているものを整備していきたいと考えています。

北橋中学校体育館の雨漏り対応

質問 抜本的な対応が必要と考え



撤去が進まぬ危険な電柱(子持行政センター)
雨漏り現地調査(北橋中学校体育館)

農業従事者への思いやり
質問 農家の皆さんは、農薬散布等の際に地域住民へ多大なる気遣いをしている。農作業への理解と協力を行政から地域住民へ求めることも必要と考えるが見解は。

産業観光部長 地域住民には、広

報等を通じて消毒時期等の周知を行い、農作業へのご理解ご協力をお願いしていきたいと考えます。



田邊 寛治

渋川市の行方

問題解決と展望



前市長が残した課題の解決

質問 前市長による個人情報漏えいなど、内部統制の緩みが見受けられるが、どう対策していくか。

市長 コンプライアンスは行政執行における根幹です。法令遵守、倫理、透明性を基本とし、信頼される行政を目指します。

質問 議会と行政の関係の正常化に向けた考えは。

市長 行政と議会の皆さんと議論をしていく中で、胸襟を開いて話します。市民のために、渋川のために全力を尽くします。

質問 渋川市内に埋設された鉄鋼スラグの処分は今後どう進めるか。

市長 対応方針と基本協定書に基づき、工事ごとに協議を行い、個別契約書を締結し、引き続き対策を進めていきます。

星名市政の展望

質問 移住定住の促進はスピード感と危機感が必要と考えるが。

市長 最大限の努力をして最大限のスピード感を持って、議会の皆さんにも力を借りて、市民も行政



急がれる新庁舎の建設

もオール渋川で進めていきます。

質問 桐生市や沼田市などは合併特例債を活用して市役所庁舎を整備した。渋川市における新庁舎建設の道筋は。

市長 今後、新庁舎の位置、規模、整備手法、整備スケジュール等を具体化する新庁舎整備計画の策定を進めていきたいと考えています。

質問 選挙戦の中で市長が掲げた中高一貫校の理念や位置づけは。

市長 中高一貫校を契機に大学誘致まで持っていき、渋川での起業、就労につなげたいと考えます。



高野 佳美

移住促進策と財源確保



移住・定住促進策

質問 群馬県が「移住希望地ランキング」全国1位になったことを受け、他市との差別化を図り、施策を強化すべきと考えるが。

市民環境部長 移住・定住先として選んでもらえるまちを目指して、支援策を継続して実施し、市の魅力である子育てしやすい環境などの情報発信を強化していきます。

宿泊税導入と財源確保

質問 観光振興の新たな財源として他自治体で導入が進む宿泊税を、仮に本市で導入した場合の試算は。

産業観光部長 年間宿泊者約97万人と仮定し、一律定額法200円で試算すると約1億9000万円、定率法での試算では、宿泊料1万8000円の2%とし試算すると約3億5000万円となります。

質問 導入先進地における宿泊税の使途は。

産業観光部長 導入自治体の使途は、導入自治体の観光課題の解決に活用されています。その使途について広く公開しています。

質問 導入先進地の中で、税収の一部を基金として積み立て、中長期的な事業にも対応できる仕組みを取り入れている自治体がある。本市でもこの仕組みを使い、空き旅館対策などの景観保全やユニバーサルデザイン等に活用すべきと考えるが、これらを踏まえ、宿泊税導入に対する市長の見解は。

市長 観光産業は重要な産業であり、宿泊税導入は、財源確保として検討の課題とする必要があると考えます。市内観光の課題検証を行い、導入の研究を進めます。



伊香保再生への道

一般質問



加藤 幸子

新市長に問う



質問 有馬配水池で高い数値が検出されているPFASへの対応について抜本対策と緊急対策を聞く。

上下水道局長 抜本対策については、複数の案を比較検討した結果、新行幸田浄水場を建設する案で進めたいと考えています。緊急対策の仮設配管については、早期に通水ができるよう進めています。

市長 国が定めている目標値は、安全を十分に考慮した基準であると認識しています。市では、恒久対策を進めており、市民の命を第一に取り組みます。

質問 市は育都宣言をし、子育て支援に力を注いできたが、新市長は継続していくのか。

市長 子育て世代の経済的負担軽減を目的に平成29年から実施中の小中学校給食費の完全無償化は、今後も重要な柱として継続します。

質問 市は「核兵器廃絶都市宣言」をし、市民の平和を守ってきたが、市長の今後のさらなる取り組みは。

市長 恒久平和を強く希求し、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に



水道水PFAS汚染改善対策として急ピッチで進む仮設工事中の管路

伝承していくため、次世代を担う子どもたちに向け平和活動の取り組みを推進していきます。

質問 日本の男女平等の現状は、女性の政治参画や管理職比率、所得格差等でG7諸国のうち最下位。学校での男女平等の取り組みは。

教育長 子どもを指導する教職員の人権教育への十分な理解を深めるために研修会を実施しています。学校では道徳や教科指導、男女混合名簿の使用や中学校の制服選択制の導入等を通して男女平等について取り組みを進めています。



望月 昭治

渋川市の安全・安心について

安全安心な道路の管理

質問 赤城町栄と北橋町赤城山地内の道路への産業廃棄物の不法投棄等をどう解決するか。

建設交通部長 県と警察に協力を仰ぎ、状況改善に努めます。なお、警察には不法投棄についての被害届の提出も検討しています。

市長 この場所は容認できない状態です。進展が図られなければ自ら県や警察に掛け合い、事態解決の一助になればと考えています。

質問 北橋町赤城山地内のかげ街道五差路は見通しが悪く大変危険。隣接の市有地の草でさらに見通しが悪くなる。市の管理は。

総務部長 定期的な除草作業を実施し視界の確保と安全性の向上に努めており、今後も現地の状況を注視し、必要な対応を継続します。

中村・半田地区の水害対策

質問 関越自動車道の高架下、利根川護岸をかさ上げする検討は。

建設交通部長 県が坂東橋から上流部の設計に着手したことから、市からも早期に整備が進むよう県

へ強く申し入れをします。

適切な農地の管理

質問 農地の一時転用期間後も、農地に戻さない場合の対応は。

農業委員会事務局長 許可条件として期間内の農地復元を求めています。期間を過ぎても復元されない場合は、個別指導を行います。

質問 一時転用期間が過ぎた農地は、期限を定めた指導が必要では。

農業委員会事務局長 優良農地の確保と農地の効率的な利用等を基本と考え、農地法に基づいて厳格な対応で取り組みます。



県による堤防のかさ上げ整備が予定される利根川の坂東橋上流部

